

# はじめに

福岡地区水道企業団は、福岡都市圏の増大する水需要に対処するため、筑後川等を水源とする用水供給事業を実施する一部事務組合として、昭和48年6月に設立されました。

その後、牛頸浄水場や送水施設の建設が進められ、昭和58年11月から水道用水の供給を開始しました。福岡都市圏の人口増加に伴う水需要に対応するべく、平成17年6月から海水淡水化センターの稼働、平成25年4月から大山ダム分、令和3年1月から五ヶ山ダム分の供給開始など供給水量を増量し、現在最大268,100m<sup>3</sup>/日の水道用水を供給しております。

水質センターは、水道水の重要な要素である安全を確保する目的で、昭和58年4月に福岡都市圏の共同検査センターとして設置され、水源、原水から浄水処理工程及び構成団体への供給水に至るまで、一貫した水質管理を行っております。また、翌昭和59年4月には構成団体からの受託検査業務を開始しました。

その後、平成19年2月に公益社団法人日本水道協会より水道水質検査優良試験所規範（水道GLP）の認定を受け、平成31年2月には3度目の更新認定を取得しました。

この水質試験年報は、令和4年4月から令和5年3月までに実施した水質検査等の結果を中心に収録しております。令和4年度におきましても、大雨による筑後川での濁度上昇や筑後川支川での油流出事故に対し、水質監視の強化により安全な水道用水を供給することができました。

今後も更なる水質管理の充実・強化をはかり、安全で良質な水道水の安定供給に努めてまいります。

本誌が、関係機関をはじめ多くの皆様にとりまして、当企業団の水道水質への理解と関心を深めていただく上で、少しでもお役に立てれば幸いに存じます。

# 目 次

水質検査方法・検査結果表示	5
水質基準に関する省令	10
供給水の水質管理目標	13
施設整備概要図	14

## I 牛頸浄水場水質試験結果

牛頸浄水場の概要	15
牛頸浄水場フロー図	16
1. 水源流域降水量	17
2. 浄水処理概要	18
3. 水質概要	20
4. 経年変化	23
水質試験結果	24

## II 海水淡水化センター水質試験結果

海水淡水化センターフロー図	36
1. 運転概要	37
2. 水質概要	38
水質試験結果	40

## III 配水池水質検査結果

1. 配水池検査概要	48
2. 水質概要	50
毎日検査結果	52
(粕屋南・新深江・多々良・下原・畦町)	
水質試験結果	53
(夫婦石・下原・多々良・月の浦・雉子ヶ尾・天拝坂・大佐野・西ヶ浦・後野 医王寺・新宮立花・人丸・観音浦・障子岳・桜ヶ丘・総合公園・須恵・粕屋南 西尾山・篠栗・笹山南・曾根・師吉・吉田・武・新深江・畦町)	

## IV 水源水質試験結果

水源調査地点図	107
1. 筑後川	
筑後川概要	108
筑後大堰の概要	108
水質概要	108
水質試験結果	111
(恵蘇宿・大城橋・取水口)	

## 2. ダム

### (1) 江川ダム

ダム概要	1 2 6
水質概要	1 2 6
水質試験結果	1 2 7
(表層・放水)	

### (2) 寺内ダム

ダム概要	1 3 2
水質概要	1 3 2
水質試験結果	1 3 3
(表層・放水)	

### (3) 合所ダム

ダム概要	1 3 8
水質概要	1 3 8
水質試験結果	1 3 9
(表層・放水)	

### (4) 鳴淵ダム

ダム概要	1 4 4
水質概要	1 4 4
水質試験結果	1 4 5
(表層・放水)	

### (5) 大山ダム

ダム概要	1 5 0
水質概要	1 5 0
水質試験結果	1 5 1
(表層・放水)	

### (6) 下笠・松原ダム

ダム概要	1 5 6
水質概要	1 5 6
水質試験結果	1 5 7
(下笠表層・松原表層・松原放水)	

### (7) 五ヶ山ダム

ダム概要	1 6 3
水質概要	1 6 3
水質試験結果	1 6 4
(表層・放水)	

## 3. 山口調整池

調整池概要	1 6 9
水質概要	1 6 9

水質試験結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	170
(表層・中層・下層)	

## V その他の試験

1. クリプトスポリジウム等の検査結果・・・・・・・・	178
2. ダイオキシン類の測定結果・・・・・・・・	180
3. 放射性物質調査結果・・・・・・・・	181
4. 2,4,5-T系除草剤の水質調査結果・・・・・・・・	183
5. 構成団体からの主な相談及び調査結果等・・・・・・・・	184
6. 浄水薬品試験結果・・・・・・・・	185

## VI 調査・研究

1. 農薬調査結果・・・・・・・・	189
-------------------	-----

## VII 精度管理

1. 精度管理・・・・・・・・	193
-----------------	-----

## VIII その他

1. 水質検査受託業務及び実績・・・・・・・・	196
2. 供給水の水質管理目標の達成状況・・・・・・・・	197
おいしい水の要件達成状況・・・・・・・・	198
3. 水質センター・海水淡水化センター概要・・・・・・・・	199
(組織図・事務分担・主要検査機器・施設平面図・アクセス方法)	

水質検査方法・検査結果表示

(令和4年4月1日現在)

項目 (単位)		検査方法	定量下限	有効桁数
水	1 一般細菌 (個/mL)	標準寒天培地法	0	2
	2 大腸菌 (MPN/100mL)	特定酵素基質培地法	検出せず	2
	3 カドミウム及びその化合物 (mg/L)	ICP-MS法	0.0003	2
	4 水銀及びその化合物 (mg/L)	還元気化-原子吸光光度法	0.00005	2
	5 セレン及びその化合物 (mg/L)	ICP-MS法	0.001	2
	6 鉛及びその化合物 (mg/L)	ICP-MS法	0.001	2
	7 ヒ素及びその化合物 (mg/L)	ICP-MS法	0.001	2
	8 六価クロム化合物 (mg/L)	ICP-MS法	0.002	2
	9 亜硝酸態窒素 (mg/L)	イオンクロマトグラフ法	0.004	3
	10 シアン化物イオン及び塩化シアン (mg/L)	イオンクロマトグラフ-ポストカラム吸光光度法	0.001	3
質	11 硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素 (mg/L)	イオンクロマトグラフ法	0.02	3
	12 フッ素及びその化合物 (mg/L)	イオンクロマトグラフ法	0.05	3
	13 ホウ素及びその化合物 (mg/L)	ICP-MS法	0.02	2
	14 四塩化炭素 (mg/L)	HS-GC-MS法	0.0002	2
	15 1,4-ジオキサン (mg/L)	HS-GC-MS法	0.002	2
	16 シス-1,2-ジクロロエチレン及びトランス-1,2-ジクロロエチレン (mg/L)	HS-GC-MS法	0.002	2
	17 ジクロロメタン (mg/L)	HS-GC-MS法	0.001	2
	18 テトラクロロエチレン (mg/L)	HS-GC-MS法	0.001	2
	19 トリクロロエチレン (mg/L)	HS-GC-MS法	0.001	2
	20 ベンゼン (mg/L)	HS-GC-MS法	0.001	2
基	21 塩素酸 (mg/L)	イオンクロマトグラフ法	0.06	3
	22 クロロ酢酸 (mg/L)	LC-MS法	0.002	2
	23 クロロホルム (mg/L)	HS-GC-MS法	0.001	2
	24 ジクロロ酢酸 (mg/L)	LC-MS法	0.002	2
	25 ジブロモクロロメタン (mg/L)	HS-GC-MS法	0.001	2
	26 臭素酸 (mg/L)	イオンクロマトグラフ-ポストカラム吸光光度法	0.001	3
	27 総トリハロメタン (mg/L)	HS-GC-MS法	0.001	2
	28 トリクロロ酢酸 (mg/L)	LC-MS法	0.002	2
	29 ブロモジクロロメタン (mg/L)	HS-GC-MS法	0.001	2
	30 ブロモホルム (mg/L)	HS-GC-MS法	0.001	2
準	31 ホルムアルデヒド (mg/L)	溶媒抽出-誘導体化-GC-MS法	0.004	2
	32 亜鉛及びその化合物 (mg/L)	ICP-MS法	0.005	2
	33 アルミニウム及びその化合物 (mg/L)	ICP-MS法	0.01	2
	34 鉄及びその化合物 (mg/L)	ICP-MS法	0.01	2
	35 銅及びその化合物 (mg/L)	ICP-MS法	0.005	2
	36 ナトリウム及びその化合物 (mg/L)	イオンクロマトグラフ法	1.0	3
	37 マンガン及びその化合物 (mg/L)	ICP-MS法	0.001	2
	38 塩化物イオン (mg/L)	イオンクロマトグラフ法	1.0	3
	39 カルシウム、マグネシウム等 (硬度) (mg/L)	イオンクロマトグラフ法	2.5	3
	40 蒸発残留物 (mg/L)	重量法	30	3
項	41 陰イオン界面活性剤 (mg/L)	固相抽出-HPLC法	0.02	2
	42 ジェオスミン (mg/L)	PT-GC-MS法、SPME-GC-MS法	0.000001	2
	43 2-メチルイソボルネオール (mg/L)	PT-GC-MS法、SPME-GC-MS法	0.000001	2
	44 非イオン界面活性剤 (mg/L)	固相抽出-HPLC法	0.002	2
	45 フェノール類 (mg/L)	固相抽出-誘導体化-GC-MS法	0.0005	2
	46 有機物(全有機炭素(TOC)の量) (mg/L)	全有機炭素計測定法(湿式酸化法)	0.1	2
	47 pH値	ガラス電極法	0.1※1	3
	48 味	官能法	異常なし	-
	49 臭気	官能法	異常なし	-
	50 色度 (度)	比色法	1	2
	51 濁度 (度)	積分球式光電光度法	0.1	3

項目 (単位)			検査方法	定量下限	有効桁数
水 質 管 理 目 標 設 定 項 目	1	アンチモン及びその化合物 (mg/L)	ICP-MS法	0.0002	2
	2	ウラン及びその化合物 (mg/L)	ICP-MS法	0.0002	2
	3	ニッケル及びその化合物 (mg/L)	ICP-MS法	0.001	2
	5	1,2-ジクロロエタン (mg/L)	HS-GC-MS法	0.0002	2
	8	トルエン (mg/L)	HS-GC-MS法	0.001	2
	9	フタル酸ジ (2-エチルヘキシル) (mg/L)	溶媒抽出-GC-MS法	0.008	2
	13	ジクロロアセトニトリル (mg/L)	溶媒抽出-GC-MS法	0.001	2
	14	抱水クロラール (mg/L)	溶媒抽出-GC-MS法	0.002	2
	15	農薬類(総農薬) (mg/L)	次頁	0.01	2
	16	残留塩素 (mg/L)	DPD吸光光度法	0.10	3
	17	カルシウム、マグネシウム等 (硬度) (mg/L)	イオンクロマトグラフ法	2.5	3
	18	マンガン及びその化合物 (mg/L)	ICP-MS法	0.001	2
	19	遊離炭酸 (mg/L)	滴定法 (遊離炭酸算出法)	1.0	2
	20	1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)	HS-GC-MS法	0.001	2
	21	メチル-t-ブチルエーテル (mg/L)	HS-GC-MS法	0.001	2
	22	有機物等 (過マンガン酸カリウム消費量) (mg/L)	滴定法 (酸性法)	0.3	2
	23	臭気強度 (TON)	官能法	1	2
	24	蒸発残留物 (mg/L)	重量法	30	3
	25	濁度 (度)	積分球式光電光度法	0.1	3
	26	pH値	ガラス電極法	0.1※1	3
	27	腐食性 (ランゲリア指数)	計算法	-	2
	28	従属栄養細菌 (個/mL)	R2A寒天培地法	0	2
	29	1,1-ジクロロエチレン (mg/L)	HS-GC-MS法	0.001	2
	30	アルミニウム及びその化合物 (mg/L)	ICP-MS法	0.01	2
	31	ペルフルオロオクタンスルホン酸 (PFOS) 及びペルフルオロオクタン酸 (PFOA) (mg/L)	LC-MS法	0.000005	2

※1 最小表示単位

項目 (単位)			検査方法	定量下限	有効桁数
1	1,3-ジクロロプロペン (D-D)	(mg/L)	HS-GC-MS法	0.0004	2
2	2,2-DPA (ダラボン)	(mg/L)	LC-MS法	0.0008	2
3	2,4-D (2,4-PA)	(mg/L)	LC-MS法	0.0002	2
4	EPN	(mg/L)	固相抽出-GC-MS法	0.00004	2
5	MCPA	(mg/L)	LC-MS法	0.00005	2
6	アシュラム	(mg/L)	LC-MS法	0.009	2
7	アセフェート	(mg/L)	LC-MS法	0.00006	2
8	アトラジン	(mg/L)	固相抽出-GC-MS法	0.0001	2
9	アニロホス	(mg/L)	固相抽出-GC-MS法	0.00003	2
10	アミトラズ	(mg/L)	LC-MS法	0.00006	2
11	アラクロール	(mg/L)	固相抽出-GC-MS法	0.0003	2
12	イソキサチオン	(mg/L)	固相抽出-GC-MS法	0.00005	2
13	イソフェンホス	(mg/L)	固相抽出-GC-MS法	0.00002	2
14	イソプロカルブ (MIPC)	(mg/L)	固相抽出-GC-MS法	0.0001	2
15	イソプロチオラン (IPT)	(mg/L)	固相抽出-GC-MS法	0.003	2
16	イブフェンカルバゾン	(mg/L)	-	-	-
17	イプロベンホス (IBP)	(mg/L)	固相抽出-GC-MS法	0.0009	2
18	イミノクタジン	(mg/L)	LC-MS法(HILICモード)	0.0005	2
19	インダノファン	(mg/L)	固相抽出-GC-MS法	0.00009	2
20	エスプロカルブ	(mg/L)	固相抽出-GC-MS法	0.0003	2
21	エトフェンブロックス	(mg/L)	固相抽出-GC-MS法	0.0008	2
22	エンドスルフアン (ベンゾエピン)	(mg/L)	固相抽出-GC-MS法	0.0001	2
23	オキサジクロメホン	(mg/L)	LC-MS法	0.0002	2
24	オキシシン銅 (有機銅)	(mg/L)	LC-MS法	0.0003	2
25	オリサストロビン	(mg/L)	固相抽出-GC-MS法	0.001	2
26	カズサホス	(mg/L)	固相抽出-GC-MS法	0.000006	2
27	カフェンストロール	(mg/L)	固相抽出-GC-MS法	0.00008	2
28	カルタップ	(mg/L)	LC-MS法	0.0008	2
29	カルバリル (NAC)	(mg/L)	LC-MS法	0.0002	2
30	カルボフラン	(mg/L)	LC-MS法	0.000005	2
31	キノクラミン (ACN)	(mg/L)	固相抽出-GC-MS法	0.00005	2
32	キャプタン	(mg/L)	固相抽出-GC-MS法	0.003	2
33	クミルロン	(mg/L)	LC-MS法	0.0003	2
34	グリホサート	(mg/L)	-	-	-
35	グルホシネート	(mg/L)	-	-	-
36	クロメブロップ	(mg/L)	LC-MS法	0.0002	2
37	クロルニトロフェン (CNP)	(mg/L)	固相抽出-GC-MS法	0.00002	2
38	クロルピリホス	(mg/L)	固相抽出-GC-MS法	0.00003	2
39	クロタロニル (TPN)	(mg/L)	固相抽出-GC-MS法	0.0005	2
40	シアナジン	(mg/L)	固相抽出-GC-MS法	0.00001	2
41	シアノホス (CYAP)	(mg/L)	固相抽出-GC-MS法	0.00003	2
42	ジウロン (DCMU)	(mg/L)	LC-MS法	0.0002	2
43	ジクロベニル (DBN)	(mg/L)	固相抽出-GC-MS法	0.0003	2
44	ジクロルボス (DDVP)	(mg/L)	固相抽出-GC-MS法	0.00008	2
45	ジクワット	(mg/L)	LC-MS法(HILICモード)	0.0005	2
46	ジスルホトン (エチルチオメトン)	(mg/L)	固相抽出-GC-MS法	0.00004	2
47	ジチオカルバメート系農薬	(mg/L)	HS-GC-MS法	0.00005	2
48	ジチオピル	(mg/L)	固相抽出-GC-MS法	0.00009	2
49	シハロホップブチル	(mg/L)	固相抽出-GC-MS法	0.00006	2
50	シマジン (CAT)	(mg/L)	固相抽出-GC-MS法	0.00003	2
51	ジメタメトリン	(mg/L)	固相抽出-GC-MS法	0.0002	2
52	ジメトエート	(mg/L)	固相抽出-GC-MS法	0.0005	2
53	シメトリン	(mg/L)	固相抽出-GC-MS法	0.0003	2
54	ダイアジノン	(mg/L)	固相抽出-GC-MS法	0.00003	2
55	ダイムロン	(mg/L)	LC-MS法	0.008	2

水質管理目標設定項目(農薬類)

	項目 (単位)	検 査 方 法	定量下限	有効桁数
56	ダゾメット、メタム (カーバム) 及びメチルイソチオシアネート (mg/L)	-	-	-
57	チアジニル (mg/L)	LC-MS法	0.001	2
58	チウラム (mg/L)	LC-MS法	0.0002	2
59	チオジカルブ (mg/L)	LC-MS法	0.0008	2
60	チオファネートメチル (mg/L)	LC-MS法	0.003	2
61	チオベンカルブ (mg/L)	固相抽出-GC-MS法	0.0002	2
62	テフリルトリオン (mg/L)	LC-MS法	0.00002	2
63	テルブカルブ (MBPMC) (mg/L)	固相抽出-GC-MS法	0.0002	2
64	トリクロビル (mg/L)	LC-MS法	0.00006	2
65	トリクロルホン (DEP) (mg/L)	LC-MS法	0.00005	2
66	トリシクラゾール (mg/L)	LC-MS法	0.001	2
67	トリフルラリン (mg/L)	固相抽出-GC-MS法	0.0006	2
68	ナプロパミド (mg/L)	固相抽出-GC-MS法	0.0003	2
69	バラコート (mg/L)	LC-MS法(HILICモード)	0.0005	2
70	ビペロホス (mg/L)	固相抽出-GC-MS法	0.00002	2
71	ピラクロニル (mg/L)	LC-MS法	0.0001	2
72	ピラゾキシフェン (mg/L)	固相抽出-GC-MS法	0.00004	2
73	ピラゾリネート (ピラゾレート) (mg/L)	LC-MS法	0.0002	2
74	ピリダフェンチオン (mg/L)	固相抽出-GC-MS法	0.00002	2
75	ピリプチカルブ (mg/L)	固相抽出-GC-MS法	0.0002	2
76	ピロキロン (mg/L)	固相抽出-GC-MS法	0.0005	2
77	フィプロニル (mg/L)	LC-MS法	0.000005	2
78	フェニトロチオン (MEP) (mg/L)	固相抽出-GC-MS法	0.0001	2
79	フェノブカルブ (BPMC) (mg/L)	固相抽出-GC-MS法	0.0003	2
80	フェリムゾン (mg/L)	LC-MS法	0.0005	2
81	フェンチオン (MPP) (mg/L)	LC-MS法	0.00006	2
82	フェントエート (PAP) (mg/L)	固相抽出-GC-MS法	0.00007	2
83	フェントラザミド (mg/L)	LC-MS法	0.0001	2
84	フサライド (mg/L)	固相抽出-GC-MS法	0.001	2
85	ブタクロール (mg/L)	固相抽出-GC-MS法	0.0003	2
86	ブタミホス (mg/L)	固相抽出-GC-MS法	0.0002	2
87	ブプロフェジン (mg/L)	固相抽出-GC-MS法	0.0002	2
88	フルアジナム (mg/L)	LC-MS法	0.003	2
89	プレチラクロール (mg/L)	固相抽出-GC-MS法	0.0005	2
90	プロシミドン (mg/L)	固相抽出-GC-MS法	0.0009	2
91	プロチオホス (mg/L)	固相抽出-GC-MS法	0.00007	2
92	プロピコナゾール (mg/L)	固相抽出-GC-MS法	0.0005	2
93	プロピザミド (mg/L)	固相抽出-GC-MS法	0.0005	2
94	プロベナゾール (mg/L)	LC-MS法	0.0003	2
95	プロモブチド (mg/L)	固相抽出-GC-MS法	0.001	2
96	ベノミル (mg/L)	LC-MS法	0.0002	2
97	ベンシクロン (mg/L)	固相抽出-GC-MS法	0.001	2
98	ベンゾビシクロン (mg/L)	LC-MS法	0.0009	2
99	ベンゾフェナップ (mg/L)	LC-MS法	0.00005	2
100	ベントゾン (mg/L)	LC-MS法	0.002	2
101	ベンディメタリン (mg/L)	固相抽出-GC-MS法	0.003	2
102	ベンフラカルブ (mg/L)	LC-MS法	0.0002	2
103	ベンフルラリン (ベスロジン) (mg/L)	固相抽出-GC-MS法	0.0001	2
104	ベンフレセート (mg/L)	固相抽出-GC-MS法	0.0007	2
105	ホスチアゼート (mg/L)	固相抽出-GC-MS法	0.00005	2
106	マラチオン (マラソン) (mg/L)	固相抽出-GC-MS法	0.007	2
107	メコプロップ (MCPP) (mg/L)	LC-MS法	0.0005	2
108	メソミル (mg/L)	LC-MS法	0.0003	2
109	メタラキシル (mg/L)	固相抽出-GC-MS法	0.002	2
110	メチダチオン (DMTP) (mg/L)	固相抽出-GC-MS法	0.00004	2
111	メトミノストロビン (mg/L)	固相抽出-GC-MS法	0.0004	2
112	メトリブジン (mg/L)	固相抽出-GC-MS法	0.0003	2
113	メフェナセツト (mg/L)	固相抽出-GC-MS法	0.0002	2
114	メブロニル (mg/L)	固相抽出-GC-MS法	0.001	2
115	モリネート (mg/L)	固相抽出-GC-MS法	0.00005	2



項目 (単位)		検査方法	定量下限	有効桁数
そ 他	気温 (°C)	棒状温度計、サーミスタ温度計	-	3
	水温 (°C)	棒状温度計、サーミスタ温度計	-	3
	大腸菌 (MPN/100mL)	特定酵素基質培地法	検出せず	2
	アルカリ度 (mg/L)	滴定法 (総アルカリ度)	1.0	3
	電気伝導率 (µS/cm)	電極法	1	3
	UV吸収 (E 260)	吸光光度法 (50mmセル)	0.001	3
	アンモニア態窒素 (mg/L)	1-ナフトール法による吸光光度法	0.01	3
	カルシウム硬度 (mg/L)	イオンクロマトグラフ法	2.5	3
	生物総数 (個/mL)	遠心沈殿、標準計数板法	5	2
	クロロフィルa (mg/L)	アセトン抽出による吸光光度法	0.001	2
	生物学的酸素要求量(BOD) (mg/L)	希釈法	0.3	2
	化学的酸素要求量(COD) (mg/L)	過マンガン酸カリウムによる滴定法	0.3	3
	浮遊物質(SS) (mg/L)	ろ過法	1	3
	溶存酸素(DO) (mg/L)	ウインクラー法、溶存酸素計による方法	0.1	3
	総窒素(T-N) (mg/L)	紫外線吸光光度法	0.05	3
	総リン(T-P) (mg/L)	ペルオキシ二硫酸カリウム分解法 (高压加熱法)	0.005	3
	硫酸イオン (mg/L)	イオンクロマトグラフ法	1.0	3
	嫌気性芽胞菌 (MPN/100mL)	ハンドフォード改良寒天培地法	0	2
	透明度 (m)	透明度板(セッキーク板)	0.1	2
項 目	水色	目視(フォーレル・ウーレ水色計 1~21)	-	-
	クロロホルム生成能 (mg/L)	HS-GC-MS法	0.001	2
	ジブロモクロメタン生成能 (mg/L)	HS-GC-MS法	0.001	2
	ブロモジクロメタン生成能 (mg/L)	HS-GC-MS法	0.001	2
	ブロモホルム生成能 (mg/L)	HS-GC-MS法	0.001	2
	総トリハロメタン生成能 (mg/L)	HS-GC-MS法	0.001	2
	ホルムアルデヒド生成能 (mg/L)	溶媒抽出・誘導体化-GC-MS法	0.004	2
	クリプトスポリジウム (原水) 個/10L	アセトン溶解・免疫磁気分離・フィルター染色法	0	2
	クリプトスポリジウム (浄水) 個/20L			
	ジアルジア (原水) 個/10L	アセトン溶解・免疫磁気分離・フィルター染色法	0	2
ジアルジア (浄水) 個/20L				

# 水質基準（51項目）

水質基準に関する省令  
（平成15年5月30日厚生労働省令101号、最終改正令和2年3月30日）

項 目		基 準	
水	1 一般細菌	1mLの検水で形成される集落数が100以下	
	2 大腸菌	検出されないこと	
	3 カドミウム及びその化合物	カドミウムの量に関して、0.003mg/L以下	
	4 水銀及びその化合物	水銀の量に関して、0.0005mg/L以下	
	5 セレン及びその化合物	セレンの量に関して、0.01mg/L以下	
	6 鉛及びその化合物	鉛の量に関して、0.01mg/L以下	
	7 ヒ素及びその化合物	ヒ素の量に関して、0.01mg/L以下	
	8 六価クロム化合物	六価クロムの量に関して、0.02mg/L以下	
	9 亜硝酸態窒素	0.04mg/L以下	
	10 シアン化物イオン及び塩化シアン	シアンの量に関して、0.01mg/L以下	
	11 硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	10mg/L以下	
	12 フッ素及びその化合物	フッ素の量に関して、0.8mg/L以下	
	13 ホウ素及びその化合物	ホウ素の量に関して、1.0mg/L以下	
	14 四塩化炭素	0.002mg/L以下	
質	15 1,4-ジオキサン	0.05mg/L以下	
	16 シス-1,2-ジクロロエチレン及び トランス-1,2-ジクロロエチレン	0.04mg/L以下	
	17 ジクロロメタン	0.02mg/L以下	
	18 テトラクロロエチレン	0.01mg/L以下	
	19 トリクロロエチレン	0.01mg/L以下	
	20 ベンゼン	0.01mg/L以下	
	21 塩素酸	0.6mg/L以下	
	22 クロロ酢酸	0.02mg/L以下	
	23 クロロホルム	0.06mg/L以下	
	24 ジクロロ酢酸	0.03mg/L以下	
	25 ジブromokロロメタン	0.1mg/L以下	
	26 臭素酸	0.01mg/L以下	
	27 総トリハロメタン	0.1mg/L以下	
	28 トリクロロ酢酸	0.03mg/L以下	
基	29 プロモジクロロメタン	0.03mg/L以下	
	30 プロモホルム	0.09mg/L以下	
	31 ホルムアルデヒド	0.08mg/L以下	
	32 亜鉛及びその化合物	亜鉛の量に関して、1.0mg/L以下	
	33 アルミニウム及びその化合物	アルミニウムの量に関して、0.2mg/L以下	
	34 鉄及びその化合物	鉄の量に関して、0.3mg/L以下	
	35 銅及びその化合物	銅の量に関して、1.0mg/L以下	
	36 ナトリウム及びその化合物	ナトリウムの量に関して、200mg/L以下	
	項	37 マンガン及びその化合物	マンガンの量に関して、0.05mg/L以下
		38 塩化物イオン	200mg/L以下
		39 カルシウム、マグネシウム等（硬度）	300mg/L以下
		40 蒸発残留物	500mg/L以下
		41 陰イオン界面活性剤	0.2mg/L以下
		42 ジェオスミン	0.00001mg/L以下
43 2-メチルインボルネオール		0.00001mg/L以下	
目		44 非イオン界面活性剤	0.02mg/L以下
		45 フェノール類	フェノールの量に換算して、0.005mg/L以下
		46 有機物（全有機炭素（TOC）の量）	3mg/L以下
		47 pH値	5.8以上8.6以下
		48 味	異常でないこと
		49 臭気	異常でないこと
		50 色度	5度以下
	51 濁度	2度以下	

水質管理目標設定項目（27項目）

水質基準に関する省令の制定及び水道法施行規則の一部改正等について  
（平成15年10月10日健発1010004号、最終改正 令和2年3月30日）

項目		目標値	
水 質 管 理 目 標 設 定 項 目	1	アンチモン及びその化合物	アンチモンの量に関して、0.02mg/L以下
	2	ウラン及びその化合物	ウランの量に関して、0.002mg/L以下（暫定）
	3	ニッケル及びその化合物	ニッケルの量に関して、0.02mg/L以下
	4	削除	
	5	1,2-ジクロロエタン	0.004mg/L以下
	6	削除	
	7	削除	
	8	トルエン	0.4mg/L以下
	9	フタル酸ジ（2-エチルヘキシル）	0.08mg/L以下
	10	亜塩素酸	0.6mg/L以下
	11	削除	
	12	二酸化塩素	0.6mg/L以下
	13	ジクロロアセトニトリル	0.01mg/L以下（暫定）
	14	抱水クロラール	0.02mg/L以下（暫定）
	15	農薬類（総農薬）	検出値と目標値の比の和として、1以下
	16	残留塩素	1mg/L以下
	17	カルシウム、マグネシウム等（硬度）	10mg/L以上100mg/L以下
	18	マンガン及びその化合物	マンガンの量に関して、0.01mg/L以下
	19	遊離炭酸	20mg/L以下
	20	1,1,1-トリクロロエタン	0.3mg/L以下
	21	メチル-t-ブチルエーテル	0.02mg/L以下
	22	有機物等（過マンガン酸カリウム消費量）	3mg/L以下
	23	臭気強度（TON）	3以下
	24	蒸発残留物	30mg/L以上200mg/L以下
	25	濁度	1度以下
	26	pH値	7.5程度
	27	腐食性（ランゲリア指数）	-1程度以上とし、極力0に近づける
	28	従属栄養細菌	1mLの検水で形成される集落数が2,000以下（暫定）
	29	1,1-ジクロロエチレン	0.1mg/L以下
	30	アルミニウム及びその化合物	アルミニウムの量に関して、0.1mg/L以下
	31	ペルフルオロオクタンスルホン酸（PFOS）及びペルフルオロオクタン酸（PFOA）	ペルフルオロオクタンスルホン酸（PFOS）及びペルフルオロオクタン酸（PFOA）の量の和として0.00005mg/L以下（暫定）

※ 目標値のうち、（暫定）は毒性評価が確定していないため、暫定値であることを示す。

項目	目標値 (mg/L)	
1	1, 3-ジクロロプロベン (D-D)	0.05
2	2, 2-DPA (ダラボン)	0.08
3	2, 4-D (2, 4-PA)	0.02
4	EPN	0.004
5	MCPA	0.005
6	アシュラム	0.9
7	アセフェート	0.006
8	アトラジン	0.01
9	アニロホス	0.003
10	アミトラズ	0.006
11	アラクロール	0.03
12	イソキサチオン	0.005
13	イソフェンホス	0.001
14	イソプロカルブ (MIPC)	0.01
15	イソプロチオラン (IPT)	0.3
16	イブフェンカルバゾン	0.002
17	イプロベンホス (IBP)	0.09
18	イミノクタジン	0.006
19	インダノファン	0.009
20	エスプロカルブ	0.03
21	エトフェンブロックス	0.08
22	エンドスルファン (ベンゾエピン)	0.01
23	オキサジクロメホン	0.02
24	オキシ銅 (有機銅)	0.03
25	オリサストロビン	0.1
26	カズサホス	0.0006
27	カフェンストール	0.008
28	カルタップ	0.08
29	カルバリル (NAC)	0.02
30	カルボフラン	0.0003
31	キノクラミン (ACN)	0.005
32	キャプタン	0.3
33	クミロン	0.03
34	グリホサート	2
35	グルホシネート	0.02
36	クロメプロップ	0.02
37	クロルニトロフェン (CNP)	0.0001
38	クロルピリホス	0.003
39	クロロタロニル (TPN)	0.05
40	シアナジン	0.001
41	シアノホス (CYAP)	0.003
42	ジウロン (DCMU)	0.02
43	ジクロベニル (DBN)	0.03
44	ジクロルボス (DDVP)	0.008
45	ジクワット	0.01
46	ジスルホトン (エチルチオメトン)	0.004
47	ジチオカルバメート系農薬	0.005 (二硫化炭素として)
48	ジチオピル	0.009
49	シハロホップブチル	0.006
50	シマジン (CAT)	0.003
51	ジメタメトリン	0.02
52	ジメトエート	0.05
53	シメトリン	0.03
54	ダイアジノン	0.003
55	ダイムロン	0.8
56	ダゾメット、メタム (カーバム) 及び メチルイソチオシアネート	0.01 (メチルイソチオシア ネートとして)
57	チアジニル	0.1
58	チウラム	0.02

水質管理目標設定項目（農薬類）

項目	目標値 (mg/L)	
59	チオジカルブ	0.08
60	チオファネートメチル	0.3
61	チオベンカルブ	0.02
62	テフリルトリオン	0.002
63	テルブカルブ (MBPMC)	0.02
64	トリクロピル	0.006
65	トリクロルホン (DEP)	0.005
66	トリシクラゾール	0.1
67	トリフルラリン	0.06
68	ナプロパミド	0.03
69	パラコート	0.005
70	ピペロホス	0.0009
71	ピラクロニル	0.01
72	ピラゾキシフェン	0.004
73	ピラゾリネート (ピラゾレート)	0.02
74	ピリダフェンチオン	0.002
75	ピリプチカルブ	0.02
76	ピロキロン	0.05
77	フィプロニル	0.0005
78	フェニトロチオン (MEP)	0.01
79	フェノブカルブ (BPMC)	0.03
80	フェリムゾン	0.05
81	フェンチオン (MPP)	0.006
82	フェントエート (PAP)	0.007
83	フェントラザミド	0.01
84	フサライド	0.1
85	ブタクロール	0.03
86	ブタミホス	0.02
87	ブプロフェジン	0.02
88	フルアジナム	0.03
89	プレチラクロール	0.05
90	プロシミドン	0.09
91	プロチオホス	0.007
92	プロピコナゾール	0.05
93	プロピザミド	0.05
94	プロベナゾール	0.03
95	プロモブチド	0.1
96	ベノミル	0.02
97	ペンシクロン	0.1
98	ベンゾピシクロン	0.09
99	ベンゾフェナップ	0.005
100	ベンタゾン	0.2
101	ペンディメタリン	0.3
102	ベンフラカルブ	0.02
103	ベンフルラリン (ベスロジン)	0.01
104	ベンフレセート	0.07
105	ホスチアゼート	0.005
106	マラチオン (マラソン)	0.7
107	メコプロップ (MCP)	0.05
108	メソミル	0.03
109	メトラキシル	0.2
110	メチダチオン (DMTP)	0.004
111	メトミノストロビン	0.04
112	メトリブジン	0.03
113	メフェナセート	0.02
114	メプロニル	0.1
115	モリネート	0.005

水質管理目標設定項目（農薬類）

## 供給水の水質管理目標（福岡地区水道企業団）

当企業団では、「安全で良質な水道水の供給」を一層推進するため、国が定めた水質基準値等よりさらに厳しい管理目標値を独自に設定し平成21年4月から運用を開始しました。

この目標値を超えた場合または超えるおそれのある場合には、早急に水質改善に向けた対策を行います。

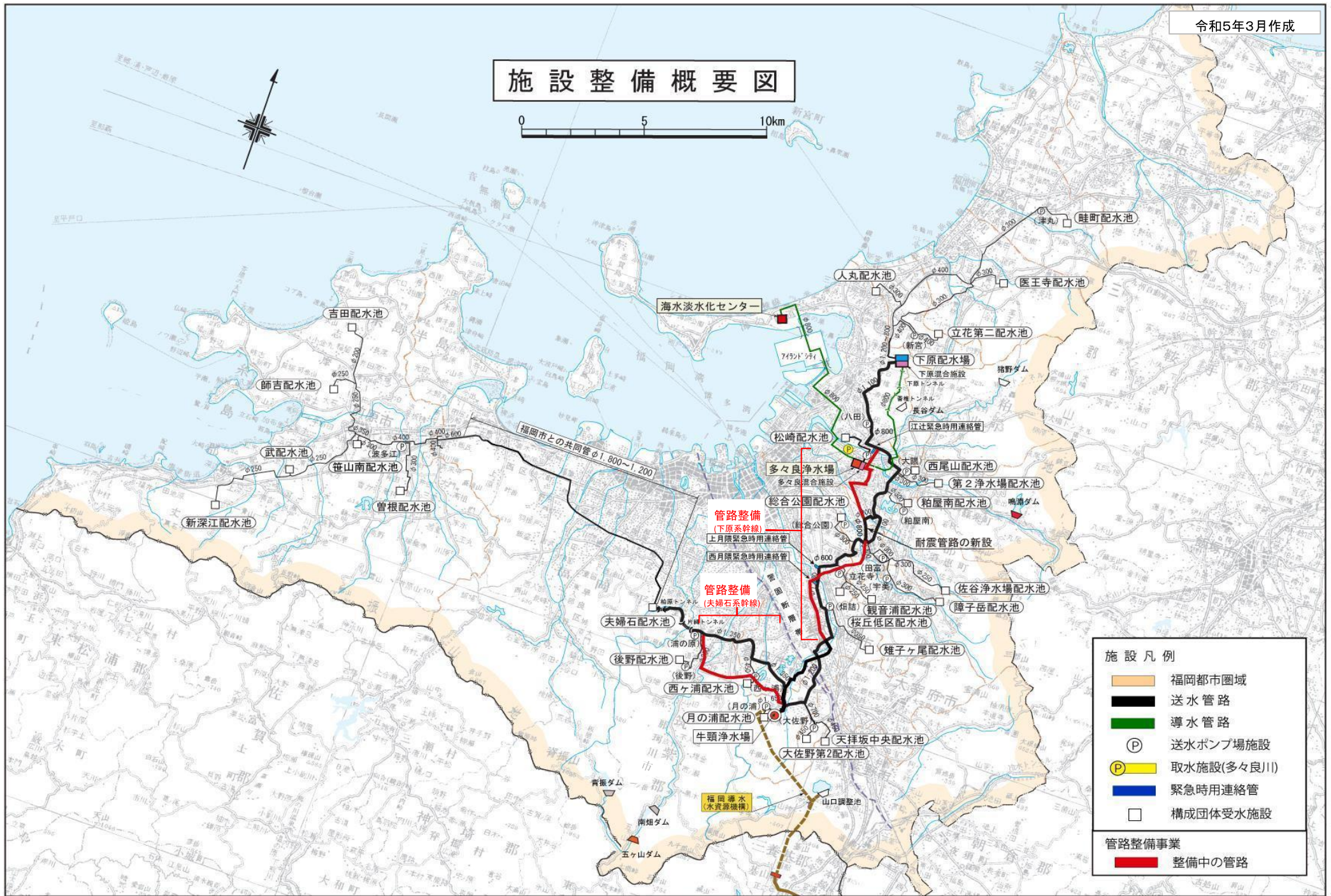
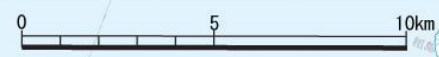
水質項目	単位	国が定めた水質基準値等(給水栓) <sup>*1)</sup>	企業団水質管理目標値(供給水) <sup>*2)</sup>	備考	
色度	度	5以下	1未満	良質	【基礎的性状】 水に付いている色の程度を示すもの。
濁度	度	2以下 1以下 <sup>*3)</sup>	0.1未満	良質	【基礎的性状】 水の濁りの程度を示すもの。
pH	—	5.8以上8.6以下 7.5程度 <sup>*3)</sup>	7.5程度 (7.4～7.8)	良質	【基礎的性状】 低pHでは腐食に、高pHでは味、手触り、消毒効果に影響する。
遊離残留塩素	mg/L	0.1以上 1以下 <sup>*3)</sup>	0.2～0.8	安全 良質	【消毒・臭い】 水道水の中に消毒効果のある状態で残っている塩素の量。 (水道法では衛生確保のため塩素消毒を行う事が定められている。)
紫外線吸光度	—	—	0.080以下 (UV260nm、50mmセル)	良質	【有機物濃度指標】 有機物による汚れの度合いを示し、生活雑排水などの混入によっても増加。水道水中に多いと渋みをつける。
ジェオスミン	mg/L	0.00001以下 (10ng/L)	0.000005以下 (5ng/L)	良質	【かび臭】 湖沼等で富栄養化に伴い発生した藍藻類より産生される異臭味の原因物質。かび臭を発生。
2-メチルイソボルネオール	mg/L	0.00001以下 (10ng/L)	0.000003以下 (3ng/L)	良質	同上
総トリハロメタン	mg/L	0.1以下	0.040以下	安全	【消毒副生成物】 原水中の有機物と消毒剤の塩素が反応して生成。発ガン性が指摘され、平成4年に基準値が設定された。
農薬類	—	検出値と目標値の比の和として 1以下 <sup>*3)</sup>	検出値と目標値の比の和として、0.1以下	安全	【農薬】 殺菌剤、除草剤、殺虫剤等の農薬のうち、114物質が「対象農薬リスト」に掲載されている。

\*1) 水道事業者の給水栓（水道の蛇口）、水道用水供給事業者の給水栓（用水供給地点）における値

\*2) 用水供給地点（配水池等に供給する水）における目標値

\*3) 国が示した水質管理目標設定項目の目標値

# 施設整備概要図



**施設凡例**

- 福岡都市圏域
- 送水管路
- 導水管路
- 送水ポンプ場施設
- 取水施設(多々良川)
- 緊急時用連絡管
- 構成団体受水施設

**管路整備事業**

- 整備中の管路